

## NY マーケットレポート (2016 年 9 月 20 日)

NY 市場では、序盤に発表された米住宅着工件数、建設許可件数がともに市場予想を下回る悪化となったことや、米債券利回りの低下が続いたことから、円買いが先行し、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。その後、値を戻す動きが見られたものの、日米の金融政策発表を控えて様子見ムードも強まっており、全般的にやや限定的な動きとなった。また、上昇して始まった米株価が、上げ幅を縮小する動きとなったことも、ドル円・クロス円の上値を重くする要因となった。

### 2016年 9月20日 (火)

| TOKYO   | 終値     | 高値     | 安値     |
|---------|--------|--------|--------|
| USD/JPY | 101.70 | 102.07 | 101.55 |
| EUR/JPY | 113.92 | 114.02 | 113.64 |
| GBP/JPY | 132.57 | 133.12 | 132.49 |
| AUD/JPY | 76.89  | 76.99  | 76.71  |
| EUR/USD | 1.1202 | 1.1214 | 1.1169 |

| LONDON  | 高値     | 安値     |
|---------|--------|--------|
| USD/JPY | 101.99 | 101.64 |
| EUR/JPY | 114.00 | 113.75 |
| GBP/JPY | 132.58 | 132.01 |
| AUD/JPY | 76.96  | 76.77  |
| EUR/USD | 1.1205 | 1.1174 |

\*東京クローズ～NYオープンまでの高安

| NEW YORK | 終値     | 高値     | 安値     |
|----------|--------|--------|--------|
| USD/JPY  | 101.75 | 101.93 | 101.63 |
| EUR/JPY  | 113.48 | 114.00 | 113.45 |
| GBP/JPY  | 132.11 | 132.25 | 131.67 |
| AUD/JPY  | 76.86  | 76.94  | 76.68  |
| NZD/JPY  | 74.44  | 74.90  | 74.30  |
| EUR/USD  | 1.1154 | 1.1188 | 1.1151 |
| AUD/USD  | 0.7554 | 0.7563 | 0.7541 |

| 米主要株価       | 終値       | 前日比     |
|-------------|----------|---------|
| 米ダウ平均       | 18129.96 | +9.79   |
| S&P500      | 2139.76  | +0.64   |
| NASDAQ      | 5241.35  | +6.32   |
| 日経225 (CME) | 16335    | +90     |
| トロント総合      | 14521.98 | +25.75  |
| ボルサ指数       | 46341.33 | +470.29 |
| ボベスパ指数      | 57736.46 | +386.08 |

### 9/21 経済指標スケジュール

|       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 08:50 | 【日本】8月貿易収支                  |
| 09:30 | 【オーストラリア】8月ウエストバック先行指数      |
| 10:00 | 【オーストラリア】8月DEWRインターネット求人指数  |
| 12:00 | 【ニュージーランド】8月クレジットカード支出      |
| 12:00 | 【日本】日銀金融政策決定会合[結果公表](時間不確定) |
| 14:00 | 【日本】8月全国スーパー売上高             |
| 15:00 | 【日本】8月百貨店売上高                |
| 15:00 | 【日本】8月工作機械受注                |
| 16:00 | 【スイス】8月マネーサプライM3            |
| 17:00 | 【ノルウェー】7月失業率                |
| 17:00 | 【南アフリカ】8月消費者物価指数            |
| 17:30 | 【英国】8月公共部門純借入所要額            |
| 17:30 | 【英国】8月公的部門純借入額              |
| 20:00 | 【米国】MBA住宅ローン申請指数            |
| 21:30 | 【カナダ】7月卸売売上高                |
| 03:00 | 【米国】FOMC金融政策発表              |
| 06:00 | 【ニュージーランド】政策金利発表            |

| コモディティ  | 終値      | 前日比    |
|---------|---------|--------|
| NY GOLD | 1318.20 | +0.40  |
| NY 原油   | 43.44   | +0.14  |
| CME コーン | 340.50  | +3.25  |
| CBOT 大豆 | 989.75  | +17.25 |

| 米国債利回り | 本日     | 前日     |
|--------|--------|--------|
| 2年債    | 0.774% | 0.774% |
| 3年債    | 0.918% | 0.920% |
| 5年債    | 1.200% | 1.213% |
| 7年債    | 1.501% | 1.515% |
| 10年債   | 1.691% | 1.705% |
| 30年債   | 2.434% | 2.454% |

|         |         |        |
|---------|---------|--------|
| ドイツ10年債 | -0.018% | 0.016% |
| 英国 10年債 | 0.806%  | 0.877% |

### 9/21 主要会議・講演・その他予定

- ・黒田日銀総裁 定例会見
- ・イエレンFRB議長 定例会見

## NY 市場レポート

21 : 30

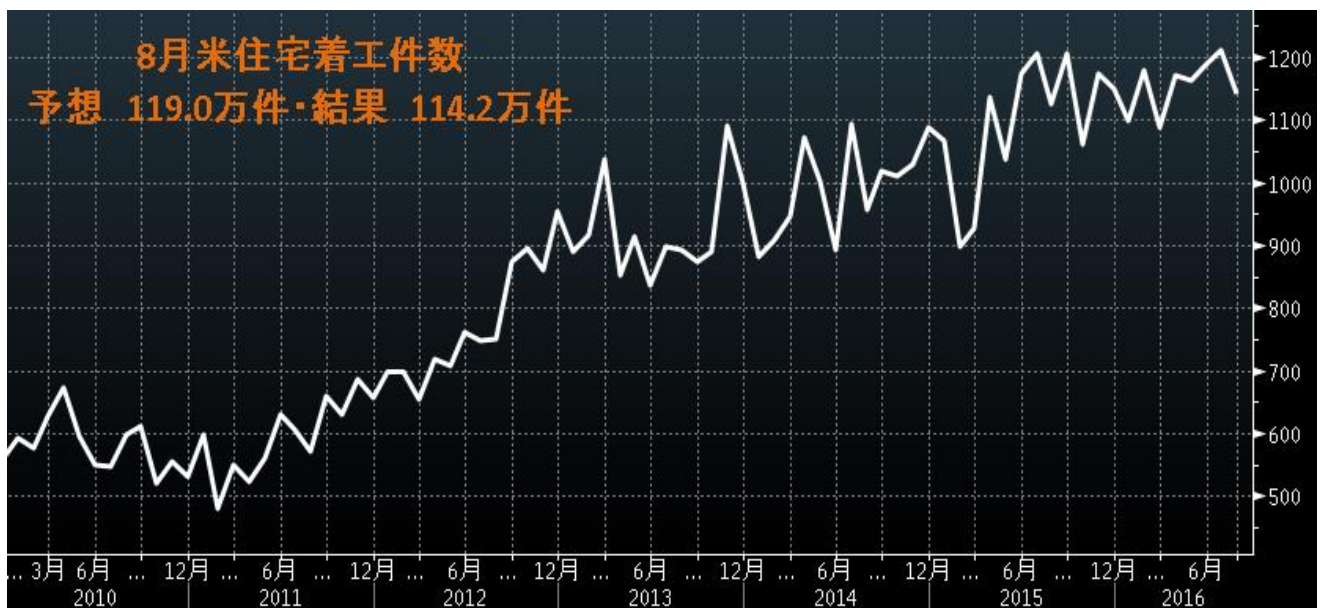
### ◀ 経済指標の結果 ▶

8 月米住宅着工件数 114.2 万件（予想 119.0 万件・前回 121.2 万件）  
 前回発表の 121.1 万件から 121.2 万件に修正

8 月米住宅着工件数（前月比） -5.8%（予想 -1.7%・前回 1.4%）  
 前回発表の 2.1%から 1.4%に修正

8 月米建設許可件数 113.9 万件（予想 116.5 万件・前回 114.4 万件）  
 前回発表の 115.2 万件から 114.4 万件に修正

8 月米建設許可件数（前月比） -0.4%（予想 1.8%・前回 -0.8%）  
 前回発表の-0.1%から-0.8%に修正



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

# 《米住宅着工・許可件数》

|        |       |       |       |       |       |       |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|        | 8月    | 7月    | 6月    | 5月    | 4月    | 3月    |
| 住宅着工件数 | 114.2 | 121.2 | 119.5 | 112.8 | 115.5 | 111.3 |
| 一戸建て住宅 | 72.2  | 76.8  | 76.3  | 73.7  | 76.4  | 75.1  |
| 集合住宅   | 42.0  | 44.4  | 43.2  | 39.1  | 39.1  | 36.2  |
| 許可件数   | 113.9 | 114.4 | 115.3 | 113.6 | 113.0 | 107.7 |
| 一戸建て住宅 | 73.7  | 71.1  | 73.8  | 73.1  | 74.1  | 72.5  |
| 集合住宅   | 40.2  | 43.3  | 41.5  | 40.5  | 38.9  | 35.2  |

## 前月比 (%)

|        |      |      |     |      |     |      |
|--------|------|------|-----|------|-----|------|
| 住宅着工   | -5.8 | 1.4  | 5.9 | -2.3 | 3.8 | -8.2 |
| 住宅建設許可 | -0.4 | -0.8 | 1.5 | 0.5  | 4.9 | -7.3 |

8月の米住宅着工件数は、年率換算で前月比-5.8%の114.2万件となり、市場予想も下回り3ヵ月ぶりに減少となった。前年同月比では+0.9%となった。主力の一戸建て住宅、集合住宅がともに減少し、今年3月以来の大きな減少率となったことが影響した。ただ、件数ベースでは、10ヵ月連続で110万件台を上回り、堅調さを維持している。

①一戸建て住宅は、前月比-6.0%の72.2万件と3ヵ月ぶりに減少し、昨年10月以来の低水準。それ以外の集合住宅は-5.4%の42.0万件となった。

②地域別では、最大市場の南部が-14.8%、北東部は7.6%、中西部は+5.6%、西部は+1.8%となった。

③着工件数の先行指標となる建設許可件数は、前月比-0.4%の113.9万件と市場予想を下回り、前年同月比でも-2.3%となった。



出所 : Net Dania

## 《海外の話題》

格付け会社ムーディーズは、南アフリカの国債格付けを引き下げる確率が3分の1との見解を示した。「成長率が予想通りに持ち直さなければ格下げを実行する可能性がある」とし、今年の成長率が0.2%の予想を下回れば、格下げを実施する可能性がある」と警告した。

23 : 35

## 日英首脳会談～ニューヨーク

- ・「中国の海洋進出念頭に法の支配の重要性で一致」
- ・「対北朝鮮決議採択へ連携で一致」
- ・「日本企業への配慮をメイ英首相に要請」

## ＜欧州のポイント＞

- ①ギリシャ中銀が発表した7月の経常収支は14億3300万ユーロの黒字で、黒字幅は前年同月（25億0700万ユーロ）から縮小した。輸入の増加で貿易赤字が拡大したことやサービス収支の黒字が減少したことが背景。観光収入は28億5000万ユーロで、前年同月（29億5000万ユーロ）からやや減少した。中銀は、貿易赤字の拡大は主に輸入の急増が要因と指摘。その上で、輸入の急増は比較対象となる2015年7月に資本規制の導入で輸入が急減したことが背景と説明した。
- ②スイス経済省経済事務局は、四半期経済予測で、2016年の経済成長率予想を6月の+1.4%から+1.5%に小幅上方修正した。英国のEU離脱などによる不透明要素が景気回復を阻害していないとの判断を示した。声明で「現状が続く限りEU離脱による経済への悪影響は英国内では限定的で、欧州大陸や世界各地域に対しても緩やかな影響にとどまる可能性がかなり高い」とした。2017年の経済成長率見通しは+1.8%で、前回6月と変わらず。過去10年間の同国の平均経済成長率は+1.9%程度となっている。
- ③ドイツ債務管理庁は、第4四半期の債券発行額を昨年12月の予定額から合計70億ユーロ縮小する方針を明らかにした。同国の歳入は税収拡大などにより増加しており、上期の財政黒字は過去最大となっていた。キャピタル・マーケット商品が10億ユーロの250億ユーロ、短期金融資産を60億ユーロの20億ユーロとする。10月11日と11月8日に、物価連動債2銘柄の入札を予定。10月24日、11月14、21日に予定していた6年債と1年債の起債は中止する。
- ④ハンガリー中銀は、政策金利を予想通り、過去最低の0.90%に据え置いた。また、上限金利の翌日物貸出金利（1.15%）、下限金利の翌日物預金金利（-0.05%）も据え置いた。金利変更の代わりに、各金融機関が中銀の3ヵ月物預金に置く資金量に10月から上限を設ける見通し。家計・企業向け融資を増やして、国債を購入するよう促す意向で、経済成長を押し上げ、借り入れ費用を押し下げると見られている。

## ＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、序盤から堅調な動きとなったが、日米の金融政策発表を控えて様子見ムードも強く、やや値動きは限定的だった。その後、米株価が上げ幅を縮小する動きとなり、上値の重い動きとなった。



出所：Bloomberg

＜ NY 金市場 ＞

NY 金は、中心限月が前日比 0.40 ドル高の 1 オンス=1318.20 ドルで取引を終了した。

NY 金は、米 FOMC で利上げが見送られるとの観測を背景に、堅調な動きとなった。ただ、FOMC 声明やイエレン FRB 議長の会見内容を見極めたいとの様子見ムードも強く、小幅な値動きとなった。



出所：Bloomberg

＜ NY 原油市場 ＞

NY 原油は、中心限月が前日比 0.14 ドル高の 1 バレル=43.44 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、OPEC 加盟国と非加盟国が増産凍結で合意するとの期待が広がり、買いが優勢となった。ただ、米石油統計で原油在庫が増加するとの予想から売りも出たことから、上値は限定的となった。



出所：Bloomberg

### 《米株式市場》

米株式市場は、欧州の主要株価上昇を背景に、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。しかし、日米の金融政策発表を控えて、様子見ムードも強まっており、その後はポジション調整の動きなどから、上げ幅を縮小する動きが続いた。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で 107 ドル高まで上昇した。ただ、その後は上げ幅の大半を縮小する動きとなった。



出所：Bloomberg

### 《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米住宅関連の経済指標が予想を下回る結果となったことや、上昇して始まった株価が上げ幅を縮小する動きとなったことから、円買いが先行し、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。その後、値を戻す動きも見られたが、日米の金融政策発表を控えて様子見ムードも強まり、やや全般的に限定的な動きとなった。



出所：総合分析チャート

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。